

●学ばスキルを「見える化」。自律的学習者を育てます。

・個々の学習をサポートするページ「For Self-study」を、各学年に設けました。

NEW

For Self-study ①

英和辞書を引いてみよう

●カナダにいる友達のエミリーから、次のようなメールが届く

Hi. Thank you for the origami birds.
Please say "Thanks" to Koji for me. He draw
Love, Emily

下線部のdrawの意味がわからないので、辞書で調べ、辞書で単語の意味を調べるときには、次の点に注意し

Q1 そのままdrawsの形で探すの？

動詞は原形(もの形)、名詞は単数形で調べます。
"He draws pictures very well."のdrawsは3文字目から始まるので、動詞と考えられます。そこで、drawを探します。

Q2 drawは辞書のどこにあるの？

単語はアルファベット順に並んでいます。drawはまず1文字目のdの見出しのところを探します。次にdのアルファベット順に並んでいるので、drawを探します。3文字目以降も同様です。

Q3 drawが見つかったら、どうするの？

辞書には次のような情報が載っています。
A 見出し語……アルファベット順に並んでいます
B 発音表記
C 品詞……英語で示してあります。◎ → 名詞
D 意味……似たような意味で分類されています。
drawには動詞と名詞の意味があるようです。
drawは動詞なので、Cの説明を見ます。

Q4 訳語がいくつもあったら、どれを選ぶの？

文の内容に合う訳語を、あてはまる品詞の中かから探します。このとき、用例も参考にしましょう。探したdrawの意味は「(絵などを)かく」とわかります。

For Self-study ②

単語を覚えよう

●単語の意味や使い方をしっかりと覚えておくことは、英語を聞いたり話したり、話したり書いたりするときの基礎になります。いろいろな方法を組み合わせて、単語を覚えましょう。

1 音と結びつけて覚えよう

単語を覚えるとき、文字を見ているだけでなく、CDや辞書の音声の音声を聞いたり、音声をまねて声に出して言ったりしましょう。そのとき、強く発音しているところにも注意してみましょう。



2 体で覚えよう

単語を覚えるとき、体の動きもつるとより覚えやすくなります。



つづりを書いて覚える



動作をしながら発音する



強く発音するところに合わせて頭や手を動かす

3 イラストや写真と一緒に覚えよう

イラストや写真とあわせて単語を覚えるのも1つの方法です。この教科書のWords & SoundsやWord Bankには、単語を表すイラストが載っているので、そのイラストと一緒に覚えるといいでしょう。



4 文で覚えよう

単語は、実際の文の中で読んだり聞いたりすると覚えやすくなります。また、表現するときの使い方も確認できます。例えば次のようにvisitを文で見ると、visitは「(場所を)訪れる・(人)訪ねる」という意味であることがわかります。



I visited many places last year. (Lesson 9 GET Part1 p.112)

I visited a friend of mine in Kyoto. (Lesson 9 USE Read p.116)

visitには、下の例のように、「(ウェブサイトに)アクセスする」という意味もあります。実生活で新たな発見があったら、メモするなど自分のためにためておきましょう。

Please visit our website! (website ウェブサイト)

For Self-study では、次の3つを扱い「アクティブ・ラーニング」でつなげます。

辞書の活用 …●

意味のわからない単語を調べたいとき、英語で表現したいときに辞書をどう活用すればよいのかを、生徒の疑問に沿う形で紹介しています。

単語学習 …◆

単語を覚えるコツについて紹介しています。生徒自身が自分に合った学習法を見つけられるように、複数の学習のアイデアを提案しています。

いろいろな学習法 …■

生徒の多様な興味に合わせて、さまざまな英語学習法を提案しています。

Book (1年)

- ①英語辞書を引いてみよう●
- ②単語を覚えよう■

Book (2年)

- ①英和・和英辞書を活用しよう●
- ②いろいろな英語学習法◆

Book (3年)

- ①単語の世界を広げよう■
- ②教科書の外で英語に触れよう◆